

# 「調査書」記載要領

- 1 「志願校」の欄は、志願校名を記入する。
- 2 「第一志願」，「第二志願」の欄には、志願する学科を記入する。第二志願がない場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引く。
- 3 ※の「受験番号」の欄は、記入しない。
- 4 学校推薦型選択に出願する者は、欄外左上隅の推薦入試志願の部分を赤色で塗りつぶす。一般選択に出願する場合は塗らなくてよい。
- 5 生年月日及び卒業年月の欄は、それぞれ該当のものを○で囲む。
- 6 「学習の記録」の欄
  - (1) 「観点別学習状況」の「評価」の欄は、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）から転記する。A，Cのみを記号により記入する。Bは記入しない。
  - (2) 「評定」の「1年」，「2年」の欄は、指導要録から転記する。
  - (3) 「評定」の「3年」の欄は、第3学年の第1，2学期の成績をもとに5段階評定で記入する。なお、2学期の成績が決定していない場合は、1学期の成績をもとに5段階評価で記入する。その場合は、「総合所見及び参考となる諸事項」にその旨を記載しておくこと。また、二次募集については、第1，2学期の成績に第3学期の成績を加味したものを、5段階評定で記入する。
  - (4) 「5教科の評定合計（a）」の欄は、学年ごとに、国語，社会，数学，理科，外国語（英語）の各評定を合計したものを記入する。
  - (5) 「4教科の評定合計（b）」の欄は、学年ごとに、音楽，美術，保健体育，技術・家庭の評定を合計したものを記入する。
  - (6) 「9教科の評定合計（（a）＋（b））」の欄は、学年ごとに「5教科の評定合計（a）」と「4教科の評定合計（b）」を合計したものを記入する。
  - (7) 「9教科の評定合計の3か年の合計」の欄は、各学年の「9教科の評定合計（（a）＋（b））」を合計したものを記入する。
  - (8) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は、この時間に行った学習の中で、顕著な活動について、その内容や取組状況を記入する。
  - (9) 過年度卒業者については、3年の欄は、指導要録から転記する。その他は卒業見込み生徒に準じて記入し、記載不能の場合は右上から左下にかけて斜線を引く。

- 7 「行動の記録」の欄は、第3学年における第1, 2学期の行動の記録について、項目ごとに、指導要録の「行動の記録」に準じて、○印を記入するか又は空欄とする。2学期の成績が決定していない場合は、1学期の「行動の記録」をもとに記入する。その場合は、「総合所見及び参考となる諸事項」にその旨を記載しておくこと。また、二次募集については、第3学期までの「行動の記録」を加味したものを記入する。
- 8 「出欠の記録」の3年の欄は、第2学期末までのものを記入する。2学期の成績が決定していない場合は、最新日のものを記入する。その場合は「総合所見及び参考となる諸事項」にその旨を記載しておくこと。二次募集については、第3学期までのものを記入する。  
また、欠席日数、遅刻・早退回数が各学年で10回以上ある場合は、必ずその理由を記入する。なお、理由の欄に記入できない場合は「総合所見及び参考となる諸事項」の欄に記入する。
- 9 「総合所見及び参考となる諸事項」の欄  
各教科の学習について総合的にみた場合の生徒の特徴や、指導上特に留意した事項を記入し、行動の状況については、全体的にとらえた生徒の特徴を記入する。3か年の特別な活動における生徒の活動状況について、主な事実及び総合的にみた場合の所見を記入する。また、学校内外における体育活動、文化活動、社会活動等や資格検定等を取得している場合は記入する。  
その他、次の事柄があれば記入する。
- (1) 帰国生徒等については、帰国前の国名、在住期間（平成〇年〇月～平成・令和〇年〇月）、帰国後の編入学年、日本語の理解度等、選抜に必要と思われる事項を記入する。
  - (2) 疾病等の状況について、特に必要であると思われる事項があれば記入する。
  - (3) その他、特筆すべき事項があれば記入する。
  - (4) 記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることが基本となるよう留意する。
- 10 「5教科の3年間の評定平均値」の欄は、「5教科(国語, 社会, 数学, 理科, 英語)の3か年の評定の合計」を15でわり算をし、小数第2位を四捨五入して、小数第1位までで示す。
- 11 記載事項の無い場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引く。
- 12 記入はすべてパソコンでも、手書きでも可とする。